

## 授業科目 助産診断・技術学Ⅱ

【担当教員名】  中山 和美		対象学年	3	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	○	○	
【概要・一般目標：GI0】					
1 周産期の異常に関する診断と検査・治療について学ぶ。 2 産褥期の助産診断と助産技術について学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1 周産期の異常に関する診断と検査・治療について説明できる。 2 産褥期の保健指導を計画立案、実施できる。 3 異常な状態にある対象者の看護について学ぶ。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	妊娠期の異常に関する診断と治療			1	講義（医師）
2	分娩期の異常に関する診断と治療			1	講義（医師）
3	産褥期の異常に関する診断と治療			1	講義（医師）
4	母体と胎児の経過診断に必要な検査			1	講義（医師）
5	産科手術および産科的医療処置			1	講義（医師）
6	周産期における緊急時の対応			1	講義（医師）
7	正常経過を逸脱した新生児、治療を必要とする新生児の診断および検査と治療			1	講義（医師）
8	未熟児・低出生体重児の特徴および病態、検査と治療			1	講義（医師）
9	乳幼児の健康診査に必要な技術			1	講義（医師）
10	ハイリスク乳幼児の検査と治療			1	講義（医師）
11	産褥期の保健指導の実際 アセスメント、計画立案、実施、評価（1）			2	グループワーク（中山）
12	産褥期の保健指導の実際 アセスメント、計画立案、実施、評価（2）			2	グループワーク（中山）
13	産褥期の保健指導の実際 アセスメント、計画立案、実施、評価（3）発表			2	グループワーク・発表（中山）
14	異常な状態にある対象者の看護（1）			2	中山
15	異常な状態にある対象者の看護（2）			2	中山
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		改訂第22版 最新産科学 正常編 荒木勤著		文光堂	2008・5,000円＋税
		改訂第21版 最新産科学 異常編 荒木勤著 他		文光堂	2008・7,000円＋税
その他の資料					
【評価方法】 筆記試験、出席ならびにグループワークへの参加態度などを総合して評価する			【履修上の留意点】 課題意識をもって主体的に学習してください。		